

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	指宿市立西指宿中学校	児童生徒数	59人
-----	------------	-------	-----

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

○ 終末で演習問題に取り組むことで、本時の学習が理解できているかを確認します。記述問題に対して苦手意識をもつ生徒も、学習内容を思い返しながらかき込む姿が見られます。

○ スプレッドシートを活用し、単元の振り返りを「わでかいも」の視点で書き込んでいます。

1 地図1中Dの地域について、地図1は、中国・四国地方の交通網の変化や高松市から自動車を利用し、3時間で到達できる本州側の範囲の変化を示したものである。本州四国連絡橋が開通したことによって、香川県に来る観光客の動きにどのような変化があったのか、地図1、資料1、資料2から読み取れることを下の文に詳しく説明せよ。

(資料1) 本州四国連絡橋のルートと開通年

ルート	開通年
児島-坂出ルート (神戸中央自動車道)	1988年
神戸-岡山ルート (神戸宮路門自動車道)	1998年
尾道-今治ルート (西瀬戸自動車道)	1999年

(資料2) 香川県の交通機関別県外観光客数の推移

1982年の解答欄

主: 橋のない? 交通が不便、少なくて、
香川県の観光客が少なくて、高松市から
高松市へ1997年の橋が通ると、自動車での移動
が便利になった。

記憶が新しいため、授業内で出た言葉を使って、何とかして答えようとする姿が見られます。

< 解答欄 >

交通が便利になり、高松市から高松市へ

1	単元名	大陸をまたく	このごろに	行き交う海船	回結する村	11/15	視点	
2	出来番号							
3							わ	かった
4							で	きた
5							か	わった
6							い	かしたい
7							も	っと知りたい
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								

参考の視点を記入しています。

回結する村、にぎわう町、下廻上の世へ

11/15

応仁の乱が1467年という事を覚えた

産業や流通、自治、一揆について分かった。

一揆がたくさん起こっていることがわかった

室町時代の大名がたくさんいることがわかった

室町幕府は意外に売れていたことがわかった

室町時代は一揆がたくさんあることがわかった

一揆は室町時代から始まっていたことがわかった

一揆がたくさん起こっていることがわかった

関丸や、馬借など、昔から運送屋さんのようなものがあったということがわかった。

室町時代は反乱がとても多い時代だった。

1467年に応仁の乱がおこったということがわかった。

一揆がたくさんあってとても大変だとわかった

室町時代は反乱など多く大変な世の中だった

取組についての概要 (成果)

10月12日(木) 第2学年 社会科「Web問題」を活用した振り返りの実践

同じ事例でも、見る資料や立場によって考え方が変わるという授業を行った後、Web問題を活用して「振り返り」を行いました。問題文をよく読み、どの立場で考えるのか、何を答える問題なのかなど、ポイントになる部分に線を引く生徒もいました。記憶の新しい授業の終末で行うことで、記述問題に対して苦手意識をもつ生徒も、学習内容を思い返しながらかき込む姿が見られました。

11月より 1～3学年 社会科 「スプレッドシート」による振り返りの実践

スプレッドシートを活用し、「わでかいも」の視点で振り返りを書き込んでいます。手書きでの振り返りに比べて、長い文章で表現する生徒が多い印象です。1ページ内に、友達の振り返りもあるため、他者の考えを参考にすることもできます。「分かったこと」に関する記述が多くなるため、適宜、「生かしたいこと」や「変わったこと」などの視点を設定することもあります。